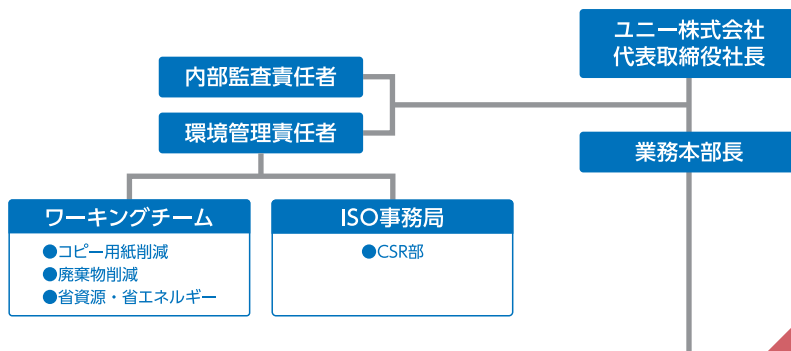


環境マネジメント

地球環境問題に対応し、持続可能な発展をしていくためには、企業活動のあらゆる局面で環境への負荷を減らしていかなければなりません。そのためには、企業が法律や規制に従うだけでなく、その企業活動全体にわたって、自主的かつ積極的に環境保全の取り組みを進めていくことが求められます。ユニーはISO14001環境マネジメントシステムを用いて、店舗や事務所の環境影響を調べて改善することに努めています。そして、お客様と一緒に「環境にやさしいお買い物」によって持続可能な社会の実現を目指しています。

環境マネジメントシステム(EMS)の組織と活動

ユニーは営業活動の中で地球環境に対してさまざまな影響を及ぼしています。商品を生産者から仕入れ、運び、販売し、お客様に消費していただくバリューチェーンのそれぞれの過程で発生する環境に悪い影響(環境負荷)をできるだけ低減することを環境目標としています。また、環境配慮商品の販売やエコストアの建設、容器包装の削減や廃棄物のリサイクルなど、環境をよくするための活動をさらに進めることも、環境マネジメントシステムで実践しています。このシステムは、Plan(計画)・Do(実行)・Check(検証)・Action(見直し、改善)のスパイラルで環境方針を実現し、持続可能な社会構築のために持続的に改善していくものです。



各部門の代表的な環境目的目標

業務本部 <ul style="list-style-type: none"> ●総務人事部 ●法務部 ●CSR部 ●情報システム部 ●物流部 <p>コピー用紙の削減。健康診断の活用(総務人事務部)。電子帳票化によるペーパーレス(情報システム部)。センター統合による物流の合理化(物流部)。エコ・ファーストの約束(CSR部)。</p>	開発本部 <ul style="list-style-type: none"> ●管財部 ●建設部 ●店舗開発部 ●ユーライフ部 <p>ラ フーズコア納屋橋店の建設。既存店舗の照明をLED化の推進。空調や冷ケースの新冷媒に関する社会動向調査。新たな新店向け次世代型店舗の計画策定。遊休資産の適切な保全。</p>	テナント本部 <ul style="list-style-type: none"> ●開発導入部 ●企画部 ●催事部 <p>再生できる紙のリサイクル率向上。テナント従業員教育時に環境教育用DVD・ゴミ図鑑を使用して環境教育を推進。個別廃棄物データの提示による廃棄物の分別徹底と発生抑制の推進。</p>	営業統括本部 <ul style="list-style-type: none"> ●管理部 ●商品・品質管理部 ●営業企画部 ●改善部 ●ECビジネス部 <p>店舗・行政と連動した環境負荷の低減に対する取組の推進(管理部)。配布エリア適正化によるチラシ用紙の削減(営業企画部)。不良品販売の撲滅(商品・品質管理部)。小集団活動によって「店舗ストアコンセプト」の実現(改善部)。物流におけるCO₂の排出量を削減(ECビジネス部)。</p>
店舗会計部 <p>店舗後方業務の削減に伴う業務担当者の作業時間の短縮、それに伴うエネルギーの削減。</p>	衣料・住関本部		食品本部 <ul style="list-style-type: none"> ●ドライ食品部 ●鮮魚部 ●精肉部 ●青果部 ●コンセ部 ●企画部 ●プロセスセンター管理部 <p>店舗での食品廃棄物の発生抑制。StyleONE商品・留型商品を含む開発商品の拡販。</p>
経営企画本部 <ul style="list-style-type: none"> ●経営企画部 ●関係会社管理部 ●経営政策部 <p>環境に優しい店作りと、お客様の居心地のよいコミュニケーションの提供。備品購入量(金額)の削減。電気使用量(金額)の削減。</p>	(衣料担当) <ul style="list-style-type: none"> ●レディース部 ●メンズ部 ●子供ベビー・靴服飾部 ●インナー部 ●企画部 <p>オーガニックコットン商品の企画・製造・販売。冷房への依存度を軽減する「カイクープ」商品の企画・製造・販売。</p>	(住関担当) <ul style="list-style-type: none"> ●ヘルス&ビューティ部 ●ホームファインディング部 ●ハウスウェア&エレクトリック部 ●ホビー&ステーションナリー部 ●企画部 <p>FSC認証紙の使用商品の販売、及び販売を通じての森林保全をアピール。再生紙使用商品販売による森林木伐採の抑制、目標値の設定。</p>	
関東営業部 <p>食品リサイクル率50%・レジ袋廃退率80%を目指す。リサイクルボックス設置数の向上。環境イベント、エコ博・エコフェスタの推進。電気自動車充電スタンドの設置を推進。ISO活動のピアゴ店舗への拡大。</p>	山静営業部 <p>「お店探検隊&エコイズラリー」を全店にて実施。大型2店舗でエコ博を実施。電気自動車充電スタンドの設置を推進。ISO活動のピアゴ店舗への拡大。</p>	北陸営業部 <p>環境実施計画書の月度進捗と営業店監査内容との突合。大型2店舗でエコ博を実施。電気自動車充電スタンドの設置を推進。ISO活動のピアゴ店舗への拡大。</p>	その他営業部 <ul style="list-style-type: none"> ●北部営業部 ●尾張営業部 ●名古屋営業部 ●三河営業部 ●関西営業部 ●小型営業部 <p>ISO活動のピアゴ店舗への拡大。</p>

店舗 ※p10に店舗環境ISO推進体制の詳細を記載しています。

環境マネジメント(ISO14001)の取り組み

2004年1月に本社事務所がISO14001を認証取得し、その後関東事務所・山静事務所・北陸事務所がそれぞれ本部として認証取得しました。2008年2月、本社が各本部を統合、同年8月にはユーストアを合併し組織変更・拡大を図りました。そして2014年からアピタ店舗

を中心に、順次、店舗認証の拡大を進めています。

また2016年11月の定期審査にて、ISO14001の改定による2015年版への移行を果たしました。



本社 ISO審査



本社 ISO部門審査



アピタ岩倉店 ISO審査



アピタ長久手店 ISO審査



アピタ小牧店 ISO売場内審査



アピタ今崎店 ISOバックヤード審査

◆アピタ全店舗でISO14001を取得

ユニーでは店舗での環境活動をより推進していくためにISO14001の活動を全店へと拡大しています。

2017年7月には、アピタ94店舗、ピアゴ5店舗の合計99店舗での認証取得になりました。店舗では、廃棄物削減・リサイクル推進・省エネ活動で成果をあげており、それが物の販売と共に企業の存在価値に繋がっている、と審査機関から評価されました。

今後はピアゴ全店舗へと認証拡大を図ってまいります。

ISOの環境目標には、従業員から提案された環境側面をテーマに取り組んでいます。

◆店舗におけるISOの環境目標

- 1 電気使用量の削減
- 2 廃棄物の削減とリサイクル推進
- 3 排水水質の改善
- 4 環境関連法令の遵守
- 5 営業と一体となった地域連携活動



環境側面の特定

◆ISO14001推進のための社員教育

環境方針・環境目標や環境マネジメントの理解を深め環境活動を実践していくために、適用範囲の全従業員と関係する人々に教育を行いました。環境目標は、部門ごとに業務の環境影響調査を行い、環境側面を抽出して設定しました。「環境実施計画」策定について教育を実施しました。また、環境マネジメントの内部監査員養成研修を行い、認証取得者は388名になりました。



内部監査員養成合宿



本社従業員集合教育

◆緊急事態への対応

環境影響で重大なものに災害があります。愛知県稲沢市の本社では、2011年の東日本大震災レベルの災害が東海地方におこることを想定し、防災訓練を計画して実施しました。

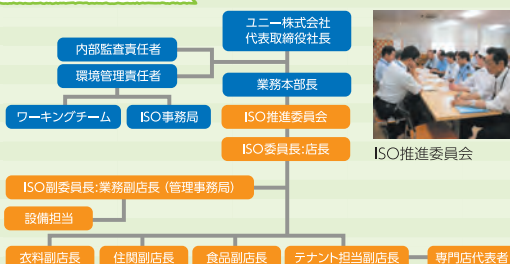


本社合同消防訓練

ISO14001 認証取得に向けて

店舗環境ISO推進体制

店舗の環境ISO推進体制に基づくメンバーにより、月に1度、ISO推進委員会が開催されます。店舗で作成した環境実施計画書の具体的な数値を評価して、点検・見直しを実施し、具体的な施策を講じていきます。



ISO推進委員会



アピタ刈谷店 2017年7月ISO14001 認証取得

アピタ刈谷店は2016年10月に全従業員に対しISO14001の導入教育を実施し、ISO理解活動を開始しました。従業員の環境意識が向上し、これまで推進してきた環境保全活動の精度を上げて取り組みました。その効果として、2016年度は電気使用量 前年80.7%、廃棄物排出量 前年96.7%、再生できる紙の構成比63.9%、廃棄商品の廃棄率0.11%と全ての項目で目標を達成しました。今期も引き続き、活動の精度を上げて、環境目標を達成しコスト削減に繋げていきます。



アピタ刈谷店
店長 廣田 修良